

【施設状況】

グループ名称	芋井公民館								
指定管理者名	芋井地区住民自治協議会					法人番号			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副					
構成施設	3373	芋井公民館							
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	大集会室(ホール) 1、会議室 1、料理実習室 1、図書室兼学習室 1								
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。								
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。								
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業 								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	芋井地区住民自治協議会			指定回数	2 回	
指定期間	平成30年4月1日	～	令和5年3月31日	5年	管理運営開始日	平成27年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

		利用区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用者数	人	4,073	4,462	3,679	1,474	40%	3
		利用率	%	5.2	5.6	5.8	4.6	79%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
		(特記事項) 【令和2年度】 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、公民館(4月16日～5月15日)は休館とした。開館後も感染対策のため、教室の収容人員を制限したこと、高齢者等が利用を自粛したこと等により利用者が減少した。							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・芋井公民館の利用許可に関する業務 ・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・芋井公民館の設備及び維持管理に関する業務 ・教育委員会が定める業務 ・芋井公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務 ・施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務 							
	自主事業	提案を求めている							
サービス維持・向上の取組み (広報等)		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館報 3回/年 発行。ホームページの更新、SNSでの情報発信を行い、公民館活動の広報に努めた。 ・講座の開催等は、地区の回覧にチラシを入れる、住自協のホームページに講座の予定を掲載するなど新規利用者の増加につなげた。また生涯学習だより「まなびい」のページに講座の予定を掲載し、広報に努めた。 ・講座の申し込みをEメールでも可とした。 							

3 利用者評価

		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	4
		(2) 調査、会議等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握に努めた。 ・貸館利用者へは、利用簿に要望等の記載箇所を設けるとともに、返却時等に聞き取りを実施した。 	
	(3) 調査、会議等の結果	実施した一般講座 26講座(26回) 講座参加者数 390人 うち アンケート回答者数 253人 満足 242人 95.7% やや満足 11人 4.3%		
	利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価	「味噌づくり」芋井産の大豆「ひとりむすめ」を使い味噌づくりを体験した。受講人数を制限しての開催だったが、申込者が多く2回開催した。味噌は講座中には完成しないため、「出来上がりが楽しみ」との会話が参加者から出るなど好評であった。「エコクラフト手芸講座」人気の講座で募集定員を大幅に超える申し込みがあった。地区外の方や新規受講者が多くいた。後日補習にきた参加者もいるなど好評であった。「コースター作り講座」旧上ケ屋高札場の解体材料を使い、小学生と地域の方と一緒にコースターづくりを行った。歴史ある材料を使い、地域の建物について学びながら作品をつくることに感動した参加者が多く好評であった。	
		(2) 苦情・改善等の要望事項	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、利用者に利用後消毒を依頼しているが、使用後消毒をしていない団体があるとの苦情をいただいた。 ・ストーブのスイッチが切れない。 	
		《対応措置》	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情を聞いてから、利用団体に確認したが、消毒は実施していた。館でも毎日消毒を実施しているが、苦情のあった日は、再度職員が消毒を実施した。 ・ストーブは、I種備品のため、市で購入してもらい設置した。 	

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和2年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和2年度決算		令和元年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入	利用料金		利用料金	3,826	使用料		使用料	
	指定管理料	9,924,000	指定管理料	9,924,000	雑(納付金)		雑(納付金)		
	委託料		委託料		行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	1,477	
	販売収入等		販売収入等		貸付料		貸付料		
	その他収入	24,000	その他収入	24,017	その他		その他		
	計	9,948,000	計	9,951,843	計	0	計	3,937	
支出	人件費	6,871,590	人件費	6,563,549	指定管理料	9,924,000	指定管理料	9,900,000	
	設備管理費	220,000	設備管理費	164,582	委託料		委託料	233,750	
	備品購入費		備品購入費	181,350	需用費		需用費		
	修繕費	200,000	修繕費		役務費		役務費		
	光熱水費	678,000	光熱水費	631,874	使用料・賃借料		使用料・賃借料		
	事業費	388,000	事業費	231,800	修繕費		修繕費		
	事務経費	1,509,410	事務経費	1,999,983	工事請負費		工事請負費		
	本社経費		本社経費		備品購入費	46,200	備品購入費	319,000	
	その他	81,000	その他		その他		その他		
	計	9,948,000	計	9,773,138	計	9,970,200	計	10,452,750	
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		178,705	差引	-9,970,200		-10,448,813	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和2年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								67.2%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		4
	1 地公連の事務局として地域公民館の要となり、地域公民館の相談に対応し連携を図る。 2 職員は、地域行事に積極的に参加し、住民との連携を図る。 3 住民自治協議会の各部会と共催して事業を行い、地域全体と連携を図る。 4 小・中学校・保育園・児童センターと連携し、保護者・祖父母も含めた事業を行い、PTAとの連携を図る。 5 講座の講師は、地元から積極的に採用し、地元の人材を活用する。 6 地域・地元との連携を円滑に行うため、職員は可能な限り地元から採用する。		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>----- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	4	8	
合計得点			

評価理由	<p>・施設利用者は、1,474人で令和元年度3,679人と比較すると40.2%減少しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による休館と講座等の縮小によるもので、適正に運営されていた。</p> <p>【地域連携を4とした理由】</p> <p>・地元小学校との連携を図り、住民が講師となり児童と一緒に学ぶ機会を提供し世代間交流を図っていること。芋井地区の歴史的建物の解体に併せ、その材料を使用した講座を住民自治協議会と企画し、小学生と地元住民と一緒にコースター作りをし地域の学びを行ったことを評価した。</p> <p>【利用者評価を4とした理由】</p> <p>・講座終了後のアンケートでは、満足が95.7%の回答を得ていること。講座の申し込みをEメールでも受付できるようにし、受講者の利便性を図ったこと。講座申込みが多く、定員を大幅に超える講座が複数あり、回数を増やして対応したことを評価した。</p>
------	--

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。 ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。 ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。
---------------------	--

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

公民館報3回/年発行した。
 ホームページの更新やツイッターでの情報を発信し、公民館活動の広報に努めた。
 講座の開催等は、地区の回覧にチラシを入れる、住自協のホームページに講座の予定を掲載するなど新規利用者の増加につなげた。また、生涯学習だより「まなびい」のページに講座の予定を掲載し、広報に努めた。
 講座の申し込みをEメールでも申し込めるようにした。

② 業務の効率化に対する取組み

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

少子高齢化が進む中で、講座の企画をしても公民館に来る手段がないため講座に参加できない方がいる。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、高齢者の不用不急の外出が制限されるなか、感染防止対策を徹底しながら講座を開講したが、参加者から人と会うこと、会話することが大切で、「講座に参加してよかった。」「講座を開講してくれてありがとう。」という声を多く聞いた。人と人が交流できる講座を開講する大切さを実感した。感染対策を講じ、人数を制限しながら計画どおり講座を開講した。

② 次年度以降の取組み

インターネットを活用した講座を実施できるよう他の公民館と情報共有を図っていく。